

令和4年度森と人を育てるコンクール実施要領

1 趣 旨

全道の各地域において適切な森林整備を実践し、模範となる優良林分を育てている森林所有者及び木育活動の実施者を評価、表彰し、林業技術の向上や森林づくりに対する道民の意識高揚と参加促進を図る。

2 名 称

令和4年度森と人を育てるコンクール

3 主 催

森と人を育てるコンクール実行委員会（以下「実行委員会」という。）

（公益社団法人北海道森と緑の会、一般社団法人北海道造林協会、北海道森林組合連合会、北海道の四者で構成し、公益社団法人北海道森と緑の会理事長が実行委員長を務める。）

4 事務局

実行委員会の事務局は、公益社団法人北海道森と緑の会に置く。

5 実施方法

（1）参加資格及び対象林分

○森林所有者

参加資格

- ・ 民有林のうち私有林（展示林、普及施設等の普及指導に利用されている森林を除く。）の森林所有者。

参加基準

- ・ 森林経営計画を作成し、森林の適切な管理・育成により、地域の模範事例と認められる次の林分
- ・ 過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた林分（最優秀賞は除く）であっても、受賞の翌年度から5年以上経過し、新たに間伐等の施業を実施した林分も対象とする。ただし、出展回数は2回を限度とする。

樹種：トドマツ、カラマツ類（グイマツを含む）（以下カラマツという）、アカエゾマツ、スギの人工造林地

面積：トドマツ、カラマツ、アカエゾマツは0.50ha以上

スギは0.30ha以上

林齢：トドマツ、カラマツ、アカエゾマツは31～45年生

スギは31～55年生

○木育活動を行う団体等

参加資格

- ・ 木育活動（植樹・育樹は必須）を積極的、継続的に実践している団体・企業等
- ・ 過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた団体（最優秀賞を除く）であっても、受賞後5年以上を経過している場合は参加資格を有するものとする。

参加基準

- ・ 木育活動（植樹・育樹は必須）を5年以上継続していること

（2）参加申し込み

参加者は、参加申込書（様式第1号、様式第2号）に別表1の資料を添えて、7月15日（金）までに各（総合）振興局森林室又は林務課（以下「振興局森林室等」という。）へ提出する。

振興局森林室等は、予備審査により、森林所有者に係る3部門の中から1林分以上と、木育に係る1団体・企業等を選定し、別表2に掲げる資料を7月22日（金）までに水産林務部森林環境局森林活用課に提出する。

なお、渡島総合振興局東部森林室、渡島総合振興局西部森林室、檜山振興局森林室については、地域の主要樹種がスギであることから、森林所有者に係るスギ部門での提出を必須とする。

(3) 一覧表の提出

森林活用課は、参加申込書等の内容を確認のうえ、参加部門ごとの一覧表を添付して事務局に提出する。

(4) 審査の実施

審査は、実行委員会が別に定める「森と人を育てるコンクール審査要領」による。

(5) 審査基準

別紙1、2の「森と人を育てるコンクール審査基準」による。

(6) 表彰

森林所有者（トドマツ・アカエゾマツ、カラマツ、スギの3部門）、木育（1部門）の各部門ごとに、次の入賞者を決定し表彰する。

最優秀賞	1点	北海道知事
優秀賞	最優秀賞以外で優秀と認められるもの	実行委員会委員長
奨励賞	優秀賞まで入賞以外の参加者	実行委員会委員長

別表1

区 分	提 出 資 料
森林所有者	写真（林分全体の状況・特徴がわかるもの、標準地、枝打ち等の状況） 位置図（5万分の1）、 地域森林計画図（5千分の1）
木育活動を行う団体等	写真（活動状況等）、位置図（5万分の1）、 活動実績書（様式第3号）

※写真はJPEGデータで提出

別表2

区 分	提 出 資 料
森林所有者	予備審査表、総合審査表、平均樹高算出表、標準地調査野帳、収穫予測ソフト（トドマツ、アカエゾマツ、カラマツ、スギ）、収量－密度図（アカエゾマツ）
木育活動を行う団体等	予備審査表、総合審査表

※収穫予測ソフトは、調査内容等を入力したデータを提出